

マイナンバーカードを作りますか？



マイナンバーカードは、①顔写真付きの身分証明書②マルチコピー機が設置された全国のコンビニで証明書(住民票の写し、印鑑登録証明書、市県民税所得証明書)の交付③確定申告などの電子申請④健康保険証として利用(医療機関や薬局で令和3年10月から順次開始)など、さまざまな場面で利用できる便利なカードです。国はさらなる市民の利便性の向上や行政の効率化を目指し検討しています。まだ持っていない方はぜひ作成してみてください。同カードの申請などの手続きは次のとおりです。詳しくは市HPを参照してください。

申請

スマートフォンやパソコン、郵送、証明用写真機での申請のほか、市役所でも申請できます。持①通知

カード②本人確認書類(官公署が発行した運転免許証など写真付きは1点、保険証など写真なしは2点必要)③来庁者は原則本人ですが、15歳未満の方や成年被後見人の方は、本人と法定代理人も来庁してください

交付

マイナンバーカードが出来上がると、市から交付通知書が届きます。現在、申請から交付まで2カ月前後かかります。持①交付通知書②通知カード③本人確認書類④来庁者は上記申請と同様です

更新

電子証明書の暗証番号は5回目の誕生日で更新となります。同カード自体の更新は未成年者が5回目、成人者が10回目の誕生日となり、再

申請が必要です。各更新のお知らせは、有効期限3カ月前から地方公共団体情報システム機構より郵送されます。持①同カード②有効期限通知書(通知書が届いていない方でも手続き可能)③同カードの暗証番号(忘れた場合は再設定可)。やむを得ず本人が来庁できない場合は、代理人による手続きも可能です(要委任状・本人確認書類)

受付

時 原則8時30分～11時30分、13時～16時30分(第3土曜日の翌日曜日、月曜日～金曜日の祝日、祝日の振替休日、年末年始などを除く) 場 市民課 問 同課 ☎70・5668(制度に関しては、マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120・95・0178)

美化標語の入選者と美化運動推進功労者を表彰 (順不同・敬称略)

ごみのないきれいな街をつくるための啓発標語に、小・中学生から合計546点の応募があり、12点が入選しました。美化運動推進功労者は、長年にわたって美化清掃などに貢献した方々で、7人と1団体が表彰されました。いずれも、表彰式は11月21日に市役所で行いました。

【美化標語】

▶市長賞 本土瑠々杏「エコバック みんなが使えば 地球もハッピー」(北の台小) ▶市議会議長賞

田代煌生(綾西小) ▶美化運動推進協議会長賞 秋山璃空(綾瀬小) ▶自治会長連絡協議会長賞 中原汐梨(綾南小) ▶老人クラブ連合会長賞 外山凌久(北の台小) ▶商工会長賞 水島悠希(早園小) ▶佳作 小島彩葉(天台小)、植木心咲(落合小)、高橋郁斗(土棚小)、佐藤柚羽(寺尾小)、橋川蓮(綾北小)、堀越光平(桐光学園中)

【美化運動推進功労者】

▶高橋正美(深谷南) ▶山瀬芳久

(蓼川) ▶奥村弘(大上) ▶松原キヨ子(大上) ▶眞保幸一(大上) ▶中村ミエ(小園) ▶小堺禎子(綾西) ▶寺尾南パトロール隊(寺尾南)

入選作品や活動写真を展示

美化標語入選作品や美化功労者活動写真を展示します。

時 ①12月13日(月)～19日(日)②12月20日(月)～24日(金) 場 ①綾瀬タウンヒルズショッピングセンター(深谷中)②市役所1階市民ホール 問 環境保全課 ☎70・5619

褒章受章者

▶紺綬褒章 ▶故志田洋一郎氏(志田潤一氏へ遺族追賞) 市一般財政資金への寄付 ▶問 福祉総務課 ☎70・5613、市民活動推進課 ☎70・5640

寄付ありがとうございました

▶障がい福祉に関する事業に役立ててほしいため150万円 有限会社ブライトピック(志澤勝取取締役会長) ▶問 障がい福祉課 ☎70・5623

市民からのお知らせ

催し

●美協小品展

美術協会会員の絵画・版画作品(15号以下の小品)の展示。時12月1日(水)～6日(月)10時～16時(初日は13時から、最終日は15時まで)

場 中央公民館市民展示ギャラリー 問 安西 ☎090・3226・5001

サークル

●綾石会(囲碁)

時 毎週土曜日13時～17時 場 中村地区センター 費 年額6000円 問 古畑 ☎70・6752

2/1号原稿は12/22締め切り

市内のちょっと珍しい文化財を紹介⑥

中世のあやせ～宝篋印塔～

宝篋印塔は、中世から近世にかけて全国各地で造立された石造物です。造立の目的は、彫られた願文の内容から、特定の人物を供養するための追善供養塔や、個人の墓石、徳を積むために生前に自ら造立する逆修塔だったことがわかります。

上部から、相輪・笠・塔身・基礎・反花座の5部材でできています。形は関東型、関西型の2つに大きく分かれていて、各部位に違いが見られます。特に反花座は、簡素にするか重厚にするかといった、東西の作り方の違いを一番感じることができます。西大寺(現・奈良県)の僧侶・忍性により伝えられた安山岩などの硬質石材を加工する技術により、関東でも宝篋印塔や五輪塔がたくさん造られるようになり、宝篋印塔各部位名称



宝篋印塔各部位名称

宝篋印塔の名前の由来

955年に呉越国(現・中国)の王がインドのアショーカ王の故事に倣い8万4000基の金銅製小塔(八万四千塔)を造って、中に宝篋印陀羅尼教を納め、諸国に配布したものが基になったといわれ、この小塔と

同じ形の塔を宝篋印塔と呼ぶようになりました。日本にも飛鳥・奈良時代には伝来していて、木製や土製のものが残されています。石製の宝篋印塔は、鎌倉時代に入ってから造られるようになりました。



塔身(上)と笠部(下)

綾瀬の宝篋印塔

市内で確認される宝篋印塔は全て関東型のものです。31カ所で161点が確認されていますが、五輪塔と同様に完全なものではなく、一部が残存しているのみです。市内最古の宝篋印塔は、報恩寺の相輪で、室町時代の最初期頃だと考えられています。年号が分かるのは、基礎部で、報恩寺で2点、個人墓地で1点確認されています。報恩寺の1点には、応永16年(1409年)とあり、室町時代



集められた宝篋印塔

中期の造立であることが分かります。一番多く残っている部分は笠部で、全部で49点あります。このことから、正確な数は分かりませんが、最低でも49基は中世期に造立されていたと考えられます。



相輪(一部)、笠部、基礎、反花座の集積塔

石材は、五輪塔と同じく、西相模産の安山岩で、1点のみ凝灰岩製のものが確認されています。安山岩は、石材の産地として知られる真鶴半島一体から相模湾を渡って持ってこられたと考えられます。

綾瀬の中世

文献には残っていないものの、綾瀬には多くの中世石造物があり、その石材は、遠くは埼玉県から、近くは相模湾を越えた真鶴方面からもたらされていました。相模湾や相模川流域を使った水上交通とともに、鎌倉からの陸路の存在がうかがえます。中世の綾瀬は、人の往来が多い、陸路と水路の交わる地域としてにぎわいを見せていたのかもしれませんが。※個人墓地への立ち入り、寺院などへの問い合わせはご遠慮ください

問 生涯学習課 ☎70・5637

皆さんの思い出をお寄せください

市立図書館開館40周年記念事業「郷土資料デジタルアーカイブ事業」

市立図書館は本年7月に開館40周年を迎え、記念事業として市民参加による「郷土資料デジタルアーカイブ事業」を開始しました。市民・地域の皆さんから、明治から令和まで時代を問わず、幅広く郷土「あやせ」に関する画像・映像資料を募集します。貴重な郷土資料を劣化させず、次世代の発展のための保存・利用を目的とし、収集した資料を編集・デジタル化し、ホームページなどで公開する予定です。

綾瀬市に関するビデオ映像、写真、画像データなど(以下「素材」という)、幅広く受け付けます。募集内容は、「歴史的な出来事」「街の風景や変遷、発展の様子」「伝統芸能」「祭りなど地域の行事」「綾瀬ゆかりの人物紹介」「街の自然」などが映っているものです。素材の形式は、VHSビデオ、8ミリ・16ミリフィルム映像、DVD、写真(紙焼き)、画像データ(SDカード)など。

甲 図書館本館 ☎77・8191、✉ ayaselib@gmail.com か直接

